

怪我も多し只射を取やと責むれど東沙林並て思ひ
切らざるを以て遁たりし五騎七騎十騎二十騎矢に
打ち死に戦後の大勢あり先んて実を責むれど中
山東沙林僅う十三に騎に敵りて日も暮るにありて水は
漸く熱け湧りて又楢山に引退き将に息を吐き居た
り去程に今朝打撃されし敵上勢方の首も、彼方の
首に討ち死にせし者も東沙林に旗印をえりて相打ち家
上の先陣味方の人々も悦を一つにあらりて五人之
で馳せ休まりし中山玄蕃東沙林四郎大守大に悦び
とやは勢にそは山に降り居り夜明けぬ明日は後日にも

後詰り到着ありしと勢に力を助けて戦ひとて諸
卒を以てせしめ今朝より皆兵糧をもききし方水は
人々も多しと計りしは水も不足弱に思ふれど東沙林
を以て戦ひの糧を配分しりて又楢山に降りしハ
誰そそ中山玄蕃同く主膳(幸)東沙林四郎大守同く
新左衛門伊良子宗三即日蛇川陣門を橋筋に
二度玄蕃、寒河江城後坂原に馬場山九郎有馬
之浦助、山崎等を始めて之等の軍に討たれし兵
共敵合ふ百余人二名に成りて坂の上は東沙林に大ま
大將として山の事を中山玄蕃押へり去程に越後勢